

縄文遺跡、品川歴史館、 そして品川用水跡をたどり大井の大仏へ



- 🌸 さくら見どころ
- 🍀 在原七福神
- 🚰 車イス対応トイレ
- ♂️ トイレ

※このマップは「(財)東京観光財団の平成18年度地域振興助成事業助成金」を受けて作られています。
※このマップはケーブルテレビしながわしながわ楽ビジョン「お出かけ情報」で放映された情報をマップにしています。



しながわ観光協会
〒141-0033 品川区西品川 1-28-3 品川区立中小企業センター 4F
Tel : 03-5751-7600 Fax : 03-5751-7699
しながわ瓦版 : <http://www.sinakan.jp>

縄文遺跡、品川歴史館、 そして品川用水跡をたどり大井の大仏へ

大森駅から池上通りを北上し、大森貝塚遺跡庭園へ。ここは、かのモース博士が日本で初めて貝塚を発見した考古学発祥の地。縄文の昔をしのぶ屋外展示もある。品川歴史館は一度は訪ねたい歴史資料の宝庫。展示にも見応えがある。歴史館を出て池上通りを西に折れ、滝王子稲荷から原の水神へ。この一帯の入り組んだ道の風景からは、かつてこの辺りに、用水が網の目のように張りめぐらされていた歴史が感じられる。「大井の大仏」の名で親しまれている、養玉院如来寺の五智如来は必見。JRの線路脇を南に上った西大井駅近くには、明治の立役者・伊藤博文公の墓所もある。(所要時間 3.3km 約2時間)

池上通り

- ・この道は平間街道(ひらまかいどう)といわれ古い東海道であった。また「奥州街道」、「相州鎌倉街道」とも言われた。東海道が海岸沿いに造られたのは、江戸時代慶長14年(1609)のことで、道幅も倍の四間(7.3メートル)と広がった。その前までは池上道が「東海道の道」だった。古くは鎌倉につながることから「鎌倉街道(相州鎌倉道)」などともいわれ、江戸時代には「池上道」と言われた。いろいろな言い方があったようだ。
- ・江戸時代になると新しい東海道が出来たため、脇道になった。しかし、東海道には鈴ヶ森の刑場があるため、嫌った人はその目の前を通らずに、池上道に迂回する人が多かったとも言われている。忠臣蔵で有名な大石内蔵助も京から江戸に入るのに池上道を使ったと言われている。(大田区の史跡と歴史・デジカメ散歩より)

大森貝塚遺跡庭園 住所：大井 6-21-6

- ・開園 平成8年4月1日 653.28㎡
- ・明治10年日本初の官立大学東京大学で教鞭を執るためアメリカから来日した、動物学者エドワード・シルヴェスター・モースが、横浜から東京に向かう途中、東海道線の車窓の景色を眺めていて偶然に発見した。わが国先史考古学研究の端緒を開いた記念すべき遺跡であり、国の史跡にもなっている。
- ・この貝塚は縄文後期・晩期に属するもので、遺跡周辺一帯から東京湾産貝類の殻・人骨・骨器・土器・獣骨など多数が発掘され、出土品は主に東京大学人類学教室に保管されている。

鹿嶋神社 住所：大井 6-18-36

- ・安和2年(969)の創建。大井村の総鎮守として親しまれている。1862年に建築された旧本殿も現存する。
- ・183年の歴史をもつ大井囃子は、今も引き継がれている。
- ・7月19日は、にんじん祭り。にんじんはかつての大井の名産。
- ・本殿の手前向かって左側にあるタブノキ(1)は、幹囲3m17cm、樹高13m、樹齢は約200年。
- ・本殿脇の旧本殿の前にあるタブノキ(2)は、幹囲2m50cm、樹高18m、樹齢は約150年。
- ・アカガシは幹囲2m6cm、樹高6m、樹齢は約200年。上半分は折れて失われているが、順調に生育している

来迎院 念仏講供養塔 住所：大井 6-18-8

- ・安和2年(969)南品川常行三昧寺の尊栄住職が、常陸鹿嶋神宮から勧請し、慈覚大師円仁作の薬師如来像を本地仏として、「鹿嶋示現山常住鶴林寺観音来迎院」という名の寺を、大井関が原(東大井6丁目)に建立した。
- ・鎌倉時代になって衰え無住になっていたのを、貞和3年(1347)了覚法印が再興し現在地に移した。
- ・江戸時代になって3代将軍家光が、正保2年(1645)境内に大井御殿を新造し、鷹狩の時の休息所にしたので、俗に「茶屋御殿」と呼ばれ、寺も「お茶屋寺」と呼ばれていたという。

来迎院石造念仏講供養塔3基(来迎院前道路を挟んだ三角地) 住所：大井 6-15-22

来迎院門前の道路に面した堂内に、明暦2年(1656)と万治2年(1659)に造立の地藏菩薩彫刻の2基、堂外に、寛文7年(1667)に造立の南無阿彌陀仏と彫った笠塔婆型の1基があり、いずれも大井村の念仏講が造立したもの。

品川歴史館 住所：大井 6-11-1 - JR大森駅山王北口下車10分

- ・開館時間：午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)。
- ・休館日：月曜・祝日(月曜が祝日の場合はその翌日が休館)・年末年始。
- ・観覧料：一般：100円、小中学生50円

滝王子稲荷神社 住所：大井 5-12-8

- ・昔、この付近に滝氏という一族が住んでいて稲荷社とあわせて王子権現(現北区)を祀っていたところから、滝王子稲荷の名がおこったといわれている。
- ・境内の湧水池はかつては、野菜など農産物の洗い場として地域住民に利用されていた。

大井・原の水神池 住所：西大井 3-1-5

- ・この遊水池は、もと原・出石などの農家が出荷する野菜を洗った洗い場で、傍らの水神社は、水の恵みに感謝した農民が祀ったもの。かつて水神が眼の神様とされ、池の水を持ち帰り、眼病の治った者は池に鯉を放ったという。

養玉院如来寺 大井の大仏 住所：西大井 5-22-25

- ・如来寺は、気喰但唱が高輪に創立したお寺で、但唱の発起によって造立された五智如来が安置されているところから、俗に高輪の大佛と呼ばれ、後に現在地に移転した。
- ・大仏の千灯供養 8月13日の迎え盆には、境内の約千個の堤灯に次々と火をともし大仏の千灯供養を行う

●● 知っ得 耳寄り情報! ●●

● 伊藤博文公墓所 住所：西大井 6-10-18

- 伊藤博文(俊輔)1841年-1909年長州藩に生まれ、高杉晋作らと倒幕運動に参加し、明治維新を成し遂げた。
- 幕末期にイギリスに密航し、海外の見識を深めている。維新後は、初代内閣総理大臣として活躍、満州視察の際に韓国の民族主義運動家安重根に暗殺された。大井に居館があったことから、国葬の後ここに葬られた。